

**YRP 開設20周年記念式典、参加者200人超で盛大に挙行10月12日
「第5期 YRP5ヵ年(2017~2021年度)ビジョン」が発表される
「ダイナミックマップ配信」で無人自動車走行実証実験に元市長乗車**



挨拶する実行委員長の齋（もたい）昭男氏

横須賀市光の丘に広がる面積 60 ヘクタール・ICT（情報通信）事業発信基地「横須賀リサーチパーク（YRP）」が今年10月、20周年を迎えたことを記念して10月11日午後、YRPセンター1号館において「YRP開設20周年記念式典」が行われ、行政・企業・大学・研究団体などから関係者200人超が参加し、大きな節目を祝いました。同実行委員会が主催、総務省が後援しました。

この日はまず実行委員長の齋（もたい）昭男氏が開会挨拶を行い、その中で「開設20周年を迎えられたのは、企業・団体・大学・研究機関・行政など58機関及び海外の関係者の皆様のお陰であり、厚くお礼を申し

上げます」と謝意を表明し、「開業10年ほど前、当時の郵政省、横須賀市、京浜急行電鉄、NTTなどが三浦半島の自然豊かな60ヘクタールの土地に、世界的にトップクラスの移動通信技術の研究パークを開発しようとの共通認識が確立しました」「1986年、横須賀インテリジェントシティ計画発表、1991年横須賀リサーチパーク基本計画策定などを経て、1997年YRP開設に至りました」と開設経緯を述べました。



上地横須賀市長から功労者表彰を受けた澤田元市長（左から二人目）ら5人



その上で

「20年を迎えた今年は、移动通信分野において、大きな変化の節目が予見されることから、有識者委員会で審議を重ねた結果、第5期 YRP5 カ年（2017 年度～2021 年度）ビジョンを策定しました。新ビジネス創出支援、ICTソリューションの実証・実装、人材育成・研修・訓練、対外連携と情報発信一の 4 項目をチャレンジ目標にすると決めました。YRP

は 2017 年度からこのビジョンに示された指針に沿った活動を進めてまいります」「これらの議論を通じて、YRP を人が集まる健康的で、面白く、楽しい場所に発展させようとの合言葉が打ち出されました」と、同ビジョンを公表しました。

鈴木茂樹・総務省総務審議官、上地克明・横須賀市長が来賓挨拶をしました。
黒岩県知事は緊急公務発生により欠席、司会者が祝賀メッセージを代読しました。

続いて功労者表彰があり、上地市長から澤田秀男・元横須賀市長（YRP 開設時の市長）ら 5 人が、開設、設立、発展に寄与したとして表彰されました。

澤田氏以外は、

小谷昌・元京急社長（YRP 開設時の社長）、
羽鳥光俊・YRP 研究開発推進協会名誉会長、
甕昭男・YRP 研究開発推進協会会長、
服部武・上智大客員教授一の 4 人です。





ダイナミックマップ配信による自動
走行車から降りる澤田元横須賀市知事

また YRP 研究開発推進協会名誉会長・会長
表彰として、「創設期のプロジェクトを推進
した中核的実務者」、佐藤昌弘・元京急専務
取締役ら 5 人が壇上に上がりました。

- 井上吉隆・元市助役
- 石田守・元 NTT コミュニケーションズ副社
長
- 大森慎吾・元独立行政法人情報通信研究機構
理事
- 中嶋信生・元 NTT ドコモ取締役

ここで参加者はいったん外に出て、
株式会社 NTT ドコモによる「ダイナミック
マップ配信に基づく（車の）自動走行」、
国立研究開発法人 情報通信研究機構による

「IoT や 5G 時代の先に向けたワイヤレスネットワーク技術」
のデモンストレーションを見学しました。



総務省・自律型モビリティシステム（自動走行技術、自動制御技術等）の開発・実証の委託先、
NTT ドコモの技術者が説明しました（高度地図データベースの高効率なリアルタイム更新・
配信技術の開発を開始）。ドコモが開発する技術は、自動走行車へのマップ情報配信に
携帯電話のネットワークを活用することを想定したものです。

元横須賀市長、蒲谷さんが乗り込んだ小型車の運転席には運転手がいません。「ダイナミック配信」
に基づき、車は見学者の前をスーッと動き出しました。そして数分後何事もなかったように車は
関係者の前に止まりました。蒲谷さんが扉を開けて降りてきましたー



NTT ドコモによる「ダイナミックマップ配信に基づく（車の）自動走行」デモには興味津々



様々なテーマの展示ブースがありました

テレビや報道で知ってはいましたが初めて見ました。

説明役の技術者は本件の目的・位置づけについて

「自律型モビリティシステムの普及展開・社会実装に向けて、研究開発した技術などに実際に触れることを通じて、将来創出されるサービス・市場に備えたり、新たなサービス・

アプリケーションの可能性を先取りしたりして検討できる場の提供」と説明しました。

東大、京大、横浜国大など「横須賀市産学官交流センター」入居大学研究室の紹介パネルや YRP 無線歴史観展示室を見学しました。東大、京大、横浜国大など 10 大学が現在の活動内容をパネル展示しました。

再び YRP ホールに戻り、記念講演を聞きました。

坂村健・東洋大学教授が「オープンIoT からIoT へ」について、

森川博之・東京大学大学院教授が「デジタル変革を見据えた第5期 YRP5 カ年ビジョン」について詳細報告を行いました。秋本文仁・実行委員会副委員長が閉会挨拶をしました。全日程終了後、YRP 内カフェテリア「ローズテリア」に会場を移し、レセプションが行われ、参加者は情報交換、名刺交換などを積極的に行っていました。



20 周年記念式典には企業・研究機関・大学などから 200 人を超す関係者が参加しました

文責

認定 NPO 法人 産業クラスター研究会

広報部会所属 平野和夫

〒239-0847 横須賀市光の丘 8-3 YRP ベンチャー棟 209

TEL&FAX 046-847-6355

e-mail yrp-cluster@marble.ocn.ne.jp

現役最高齢（76 歳）広報専門家

平野携帯 090-7701-1366